

我が家の規格外品を活かして

—宇城4Hクラブ加工研究会—

宇城地域は、トマトやメロン、デコポン等様々な野菜や果物が栽培されています。

宇城地域の若手生産者の団体である宇城4Hクラブは、宇土・松橋・小川・三角・不知火の計5単位クラブで構成されています。宇城4Hクラブは、我が家の規格外品を活用し、加工品にできないかと考え、宇城4Hクラブ加工研究会を平成26年6月に発足しました。

まず、加工品を作る方法や作物ごとの特性を理解するために、県産業技術センターでの勉強会を行いました。その後、実際に我が家の作物（トマト、ミカン等）の規格外品を持ち寄り、ジュース、ゼリー等の試作に取り組み、試行錯誤を重ね、トマトドリンクゼリー・ミカンドリンクゼリーを製作しました。製作したトマトドリンクゼリー・ミカンドリンクゼリーは宇城彩館で消費者アンケートを実施し、現状の課題や改善点を明らかにすることができました。

今後、4Hクラブ員はさらなる加工品の品質向上等に取り組むとともに、我が家にあった加工品の開発も検討するなど、宇城地域の農業を担う存在として新たなチャレンジを続けていきます。



加工品試作会の様子



ドライフルーツにも挑戦



消費者アンケートの実施



完成したドリンクゼリー